

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、五所川原市でも事前防災対策を進める必要がある。五所川原市市浦地区には、二級水系である磯松川水系があることから、下記の対策を実施することにより、磯松川流域において浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・樹木伐採・河道掘削
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留

■ 被害対象を減少させるための対策

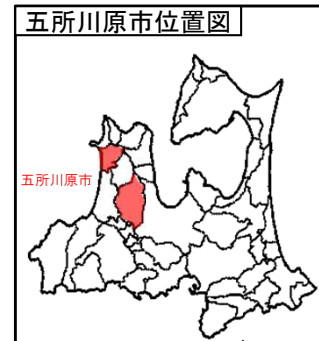
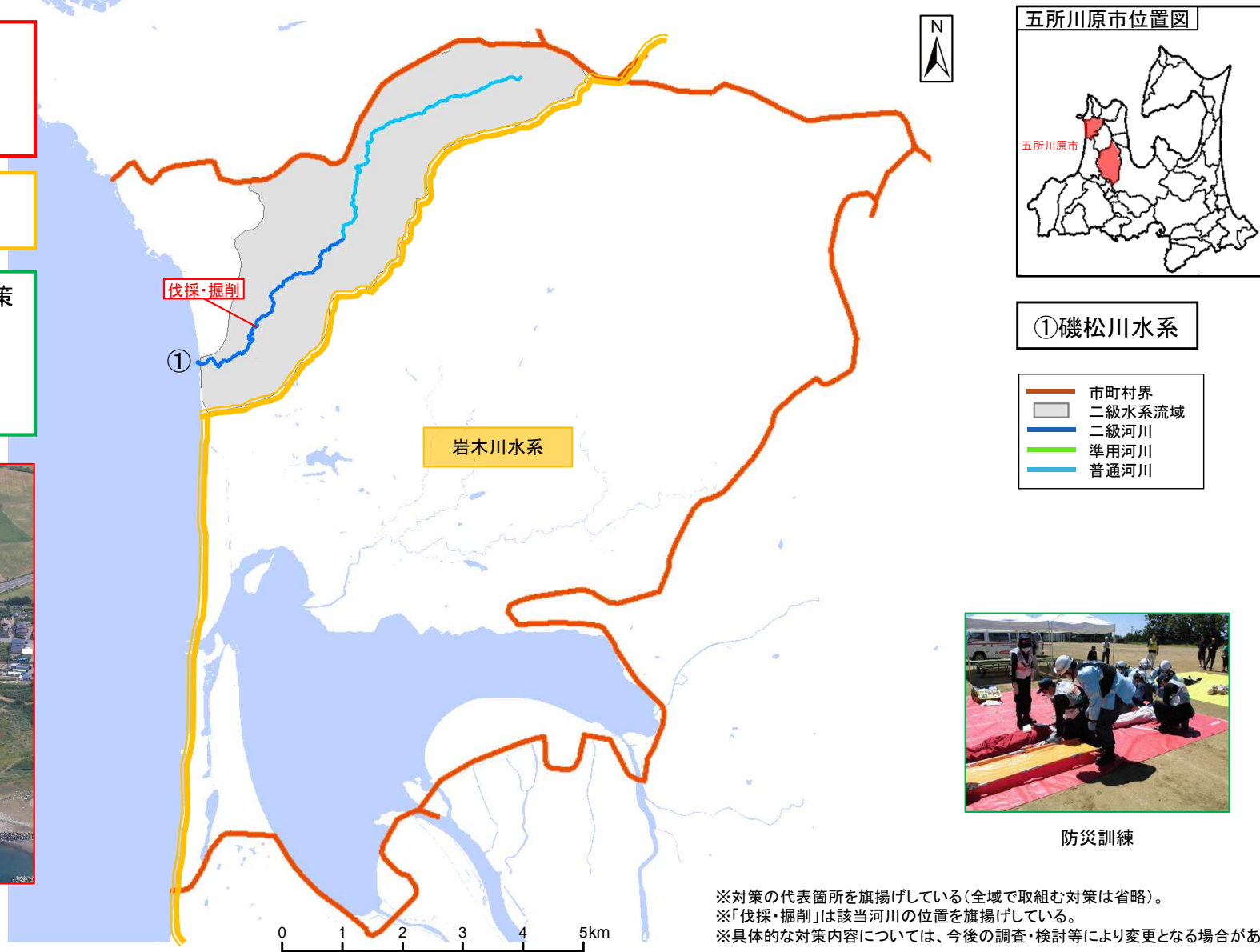
- ・盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組  
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・被害軽減のための取組  
(水防体制の強化 等)



磯松川



① 磯松川水系

- 市町村界
- 二級水系流域
- 二級河川
- 準用河川
- 普通河川



防災訓練

※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。  
※「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。  
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

五所川原市「市浦地区」を流れる磯松川水系の流域全体を俯瞰し、県、市、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。  
**【短期】** 樹木伐採・河道掘削の集中実施、森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。  
**【中長期】** 各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	樹木伐採・河道掘削	県・市	集中実施	
	森林整備・治山対策	市・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	水田貯留	県・市 等	実施に向けた調整・検討	
被害対象を減少させるための対策	盛土構造物の保全	県・市	道路盛土 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・市・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・市	水防体制の強化、市庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。